



# 平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社アゴラ・ホスピタリティ・グループ  
 コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) リム・キム・リン

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 暢樹

TEL 03-3436-1860

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	5,653	4.6	35		2		210	39.6
28年12月期第3四半期	5,925	1.8	109	71.3	59		348	

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 227百万円 ( 42.3%) 28年12月期第3四半期 394百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	0.79	0.79
28年12月期第3四半期	1.26	1.26

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	17,944	9,399	45.5
28年12月期	15,935	9,345	50.9

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 8,164百万円 28年12月期 8,103百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		0.00	0.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年12月期の配当は未定とさせていただきます。

## 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,920	0.5	360	39.3	420	157.7	520	15.3	1.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 有  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	281,708,934 株	28年12月期	276,358,934 株
期末自己株式数	29年12月期3Q	27,762,506 株	28年12月期	173,794 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	264,653,678 株	28年12月期3Q	275,685,888 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、人手不足による影響や安倍内閣の突然の解散総選挙および海外情勢に関する不安もある一方、引き続き回復基調が認められました。

当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の連結業績は、堅調な訪日外国人旅行者需要や夏休み期間中の需要増を背景に宿泊事業を推し進めましたが、新規ホテルの開業や民泊等の増加により競争が激化しました。当社グループの宿泊施設の稼働率は前年同四半期と同水準を維持したものの、当社グループの基幹ホテルのある大阪地区において、ホテルの宿泊単価や大型の宴会受注が伸び悩んだこと等により売上高では前年同四半期を下回る5,653百万円(前年同四半期比4.6%減)となりました。費用面におきましては旺盛な宿泊需要に対して、引き続き積極的な人材確保を行った結果、人件費および外注人件費が前年同四半期比10百万円増加し、営業損失は35百万円(前年同四半期は営業利益109百万円)となりました。

営業外収益として為替差益53百万円、不動産賃貸事業の一部資産の売却に係る入金の変約金として40百万円等を計上し、一方、営業外費用として当社の保有する豪ドル建て資産に係る持分法による投資損失30百万円等を計上したことにより、経常損失は2百万円(前年同四半期は経常損失59百万円)となりました。

また、特別利益として、マレーシアにおける霊園事業の株式取得に係る有価証券報告書等の訂正に要した費用およびそれに係る課徴金に関する補償金267百万円等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は210百万円(前年同四半期は348百万円)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです

## ① 宿泊事業

宿泊事業部門につきましては堅調な訪日外国人旅行者需要や夏休み期間中の需要増を背景に宿泊事業を推し進めましたが、当社グループの基幹ホテルのある大阪地区において、新規ホテルの出店や民泊等の宿泊施設の増加により競争が激化し、ホテルの稼働率は前年同四半期と同水準を維持したものの、宿泊単価は伸び悩み、売上高は前年同期をわずかに下回り5,157百万円(前年同四半期比3.9%減)となりました。費用面では運営費用の圧縮に努めましたが、堅調な訪日外国人旅行者需要に対するホスピタリティー技能を持った人材やホテルサービスの人員が不足していることから、外注人件費が増加したことに加え積極的な人材の確保を行った結果、採用費用を含む人件費および外注人件費が10百万円増加したこと等により営業利益は62百万円(前年同四半期比73.3%減)となりました。

## ② その他投資事業

前年度において不動産賃貸事業の一部資産を売却したことにより売上高が45百万円減少し、また、現地通貨安および円高の影響を受け、当社の保有する現地通貨建て資産に係る為替差損および評価損15百万円が発生したこと等により、売上高は496百万円(前年同四半期比11.6%減)となりましたが、運営費用の抑制に努め営業利益は78百万円(前年同四半期比85.6%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて12.6%増加し、17,944百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13.3%減少し、3,214百万円となりました。これは、開発事業等支出金が482百万円増加し、現金及び預金が53百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて20.5%増加し、14,729百万円となりました。これは、土地が2,765百万円増加し、建物及び構築物が126百万円減少したことなどによります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて29.7%増加し、8,544百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.8%減少し、1,897百万円となりました。これは、賞与引当金が62百万円増加し、未払金が124百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて48.9%増加し、6,646百万円となりました。これは、長期借入金が増加したことなどによります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、9,399百万円となりました。これは、利益剰余金が6,517百万円、非支配株主持分が29百万円増加したことなどによります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、概ね当初の想定通りの見込みとなっていることから、現時点で平成29年2月13日に公表いたしました平成29年12月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,339,311	1,285,351
売掛金	393,969	348,983
有価証券	268,007	252,703
貯蔵品	90,258	68,865
開発事業等支出金	461,678	944,438
その他	1,157,805	328,193
貸倒引当金	△5,440	△14,240
流動資産合計	3,705,589	3,214,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,672,921	3,546,282
車両運搬具(純額)	14,430	14,929
工具、器具及び備品(純額)	114,874	99,688
土地	3,306,726	6,072,214
住宅用賃貸不動産(純額)	2,781,964	2,766,133
有形固定資産合計	9,890,916	12,499,249
無形固定資産		
商標権	3,304	2,927
ソフトウェア	18,564	11,722
のれん	1,852,452	1,743,059
無形固定資産合計	1,874,322	1,757,708
投資その他の資産		
投資有価証券	35,856	36,380
長期貸付金	369,313	342,270
その他	50,079	94,259
投資その他の資産合計	455,248	472,910
固定資産合計	12,220,487	14,729,868
繰延資産	9,109	—
資産合計	15,935,186	17,944,163

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	330,678	228,698
1年内返済予定の長期借入金	192,074	192,097
未払金	991,029	866,892
未払費用	26,152	20,535
未払法人税等	70,017	63,745
賞与引当金	11,092	73,150
ポイント引当金	649	204
資産除去債務	26,000	26,000
その他	479,140	426,610
流動負債合計	2,126,835	1,897,935
固定負債		
長期借入金	3,871,893	6,067,814
長期預り保証金	541,057	531,327
繰延税金負債	265	256
その他	49,317	47,330
固定負債合計	4,462,534	6,646,728
負債合計	6,589,369	8,544,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,450,385	8,534,406
資本剰余金	5,140,511	2,642,464
利益剰余金	△8,413,167	△1,895,643
自己株式	△12,686	△1,033,467
株主資本合計	8,165,043	8,247,760
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△61,804	△83,689
その他の包括利益累計額合計	△61,804	△83,689
新株予約権	36,248	—
非支配株主持分	1,206,328	1,235,428
純資産合計	9,345,816	9,399,499
負債純資産合計	15,935,186	17,944,163

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,925,529	5,653,357
売上原価	4,135,396	3,989,343
売上総利益	1,790,133	1,664,013
販売費及び一般管理費	1,680,807	1,699,381
営業利益又は営業損失(△)	109,326	△35,367
営業外収益		
受取利息	2,676	322
受取配当金	2	2
為替差益	-	53,533
持分法による投資利益	36,891	-
違約金収入	-	40,000
その他	19,429	21,855
営業外収益合計	59,000	115,713
営業外費用		
支払利息	33,134	31,248
為替差損	173,949	-
資金調達費用	-	3,916
持分法による投資損失	-	30,357
開業費償却	11,180	9,109
その他	9,933	8,222
営業外費用合計	228,198	82,854
経常損失(△)	△59,871	△2,508
特別利益		
固定資産売却益	567,688	-
新株予約権戻入益	-	1,955
受取補償金	91,265	267,377
賃貸借契約解約益	-	51,936
特別利益合計	658,954	321,269
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	599,082	318,761
匿名組合損益分配額	110,204	-
税金等調整前四半期純利益	488,877	318,761
法人税、住民税及び事業税	125,794	71,025
法人税等調整額	△2,950	△1,342
法人税等合計	122,843	69,682
四半期純利益	366,034	249,078
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,748	38,793
親会社株主に帰属する四半期純利益	348,285	210,285



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	366,034	249,078
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	28,028	△21,885
その他の包括利益合計	28,028	△21,885
四半期包括利益	394,063	227,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	376,314	188,400
非支配株主に係る四半期包括利益	17,748	38,793

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年3月29日開催の定時株主総会において、欠損の填補を目的とする無償減資について決議し、当該決議について、平成29年3月29日に効力が発生しております。この結果、第1四半期連結会計期間において、資本金3,000,000千円、資本準備金5,000,000千円を減少させ、この減少額全額をその他資本剰余金に振替えました。減少額のうち、6,307,238千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損額を填補いたしました。これらにより、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が8,534,406千円、資本剰余金が2,642,464千円となっております。

当社は、ファー・イースト・グループが保有する当社株式の保有比率を引き下げることが目的として平成29年3月29日開催の定時株主総会において決議された、特定の株主からの自己株式取得の件に基づき、平成29年5月15日開催の取締役会において自己株式の取得について決議し、自己株式の取得を行いました。

これにより、自己株式が1,020,781千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、単元未満株式の買取請求分による取得と合わせ1,033,467千円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、完了しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

有形固定資産の減価償却の方法の変更

有形固定資産の減価償却の方法については、従来、主として定額法(建物以外の有形固定資産については一部の連結子会社において定率法)によっておりましたが、経営体制の刷新を契機に、当社の主力事業であるホテルの長期的な保有を前提とした宿泊事業運営に向け、事業管理体制の構築の一環として、当社が匿名組合出資を行うホテル資産の減価償却方法を検討した結果、投資の効果は安定的に発現すると見込まれるため、定額法がより実態に即した合理的な費用配分であると判断し、第1四半期連結会計期間より、連結子会社のうち、オリオン合同会社、ヴァルゴ合同会社、ジェミニ合同会社の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響については、セグメント情報等に記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,364,309	561,220	5,925,529	—	5,925,529
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,364,309	561,220	5,925,529	—	5,925,529
セグメント利益	232,543	42,319	274,862	△165,536	109,326

(注) 1. セグメント利益の調整額△165,536千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

宿泊事業セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式取得により、プライム・ホワイト・インベストメント・リミテッドを連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては883,980千円でありませ

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

### 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,157,239	496,118	5,653,357	—	5,653,357
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,157,239	496,118	5,653,357	—	5,653,357
セグメント利益	62,097	78,549	140,647	△176,015	△35,367

(注) 1. セグメント利益の調整額△176,015千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 会計方針の変更等

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

有形固定資産の減価償却の方法の変更

有形固定資産の減価償却の方法については、従来、主として定額法(建物以外の有形固定資産については一部の連結子会社において定率法)によっておりましたが、経営体制の刷新を契機に、当社の主力事業であるホテルの長期的な保有を前提とした宿泊事業運営に向け、事業管理体制の構築の一環として、当社が匿名組合出資を行うホテル資産の減価償却方法を検討した結果、投資の効果は安定的に発現すると見込まれるため、定額法がより実態に即した合理的な費用配分であると判断し、第1四半期連結会計期間より、連結子会社のうち、オリオン合同会社、ヴァルゴ合同会社、ジェミニ合同会社の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の宿泊事業セグメントの損益に与える影響は軽微であります。

### 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。